



ATOK12 / ATOK11 / ATOK10 for Windows

アプリケーションプログラムインターフェース仕様書

- * 「ATOK12」「ATOK11」「ATOK10」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK12」「ATOK11」「ATOK10」にかかる著作権その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムに帰属します。
- * 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- * その他、記載された製品名は各社の商標または登録商標です。

第2版：1998年12月22日
(C) 1998 株式会社ジャストシステム

ご使用条件

株式会社ジャストシステム（以下「弊社」）は、以下に定めるドキュメント、サンプルプログラム〔ソース/実行形〕、開発用ファイル（以下総称して「本技術情報」）を受領するお客様（以下「受領者」）が下記の条件にご同意されることを条件として、本技術情報の使用を許諾いたします。受領者が本技術情報のご使用を開始された場合は、下記条件に同意いただいているものとみなします。（本使用条件は、ドキュメントの本文、および開発用ファイル、サンプルプログラムの「License.txt」にも記載されています。）

ドキュメント : ATOK12 / ATOK11 / ATOK10 for Windows
アプリケーションプログラムインターフェース仕様書
サンプルプログラム : (該当するものはありません)
開発用ファイル : ATOKLIB.H、 ATOKLIB.LIB、 ATOK10WC.DLL

記

1 定義

「アプリケーション」とは、本使用条件に従い本技術情報を使用して受領者が開発するプログラムまたはソフトウェア製品などをいいます。

2 受領者は、受領者個人または受領者の属する法人などの内部的な範囲において、個人的または商業的とを問わず、アプリケーション開発を目的とする場合に限り、以下に定める範囲で本技術情報を使用することができます。

- (1) 本技術情報を、閲覧、ダウンロード、複製して使用すること。
- (2) サンプルプログラムのソースコードについては、改変し、アプリケーションに組み込むこと。
- (3) アプリケーションを第三者に頒布すること。

3 受領者は以下の行為を行わないものとします。

- (1) 本使用条件に定める以外の目的での本技術情報の使用。
- (2) 本技術情報の一部または全部の、第三者への頒布、販売、再使用許諾、送信、Web サイトなどネットワークサーバへの掲示。
- (3) ドキュメント、開発用ファイルの一部または全部の、改変、リバースエンジニアリング。
- (4) 本技術情報を利用することによる、弊社 ATOK シリーズ競合製品の開発。
- (5) アプリケーションの開発、評価および使用の際に、真正品以外の ATOK または弊社製品を使用すること。

4 受領者はアプリケーションを頒布する際、有償であるか否かを問わず、以下を遵守するものとします。

- (1) 弊社の書面による許諾なく、弊社の社名や製品名等のロゴを使用しないこと。
- (2) アプリケーションが弊社製品に対応する旨を表示したり、マニュアル等で商品内容や操作を説明したりする場合を除き、弊社の社名および商品名を表示しないこと。
- (3) 前項に従って、製品名を記載する場合は、「ATOK」が弊社の登録商標である旨をあわせて表示すること。
- (4) アプリケーションについて弊社による推奨、監修、品質保証等がある、もしくは、アプリケーションが弊社から販売されているかの誤認を与えるような表示を行わないこと。
- (5) アプリケーションの頒布により生じた第三者との紛争に関しては、受領者の責任と負担により解決するものとし、弊社に損害を与えないこと。

5 本技術情報にかかる著作権その他の権利は、弊社に帰属するものであり、受領者は、本技術情報に付されている著作権、商標権その他の知的財産権の表示を削除、変更することはできません。

6 弊社は、

- (1) 本技術情報は現状有姿で提供され、その品質および機能が完全であることおよび受領者の使用目的に適合することを保証するものではなく、本技術情報についての瑕疵担保責任および保証責任を一切負いません。本技術情報の選択導入は受領者の責任で行っていただき、本技術情報の使用およびその結果についても同様とします。
- (2) 本技術情報およびアプリケーションの使用または使用不能から生ずる直接的または間接的損害については一切責任を負いません。

7 弊社は受領者に対し、本技術情報に関するサポートは一切行いません。

8 弊社は、受領者が本使用条件のいずれかの条項に違反した場合または弊社の著作権を侵害した場合には、本技術情報の受領者による使用を終了させることができます。その場合、受領者は、受領者が有する本技術情報及びその複製物を必ず破棄して下さい。

9 本技術情報は随時変更されることがあります。

以 上

目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1 . 概 要 | 1 |
| 2 . 関数仕様書 | 2 |
| 2 - 1 . 関数一覧 | 2 |
| 2 - 2 . 各関数の仕様 | 4 |
| 3 . サンプル | 27 |
| 3 - 1 . 未確定文字列表示をアプリケーション側で行う | 27 |
| 3 - 2 . 未確定文字列表示はIMEに行わせる | 28 |
| 4 . 付 録 | 29 |
| 4 - 1 . ATOKComposition 取得関数 | 29 |
| 4 - 2 . ATOK Composition 構造体定義 | 29 |
| 4 - 3 . 未確定文字表示色構造体定義 | 31 |
| 4 - 4 . ATOK 辞書設定用構造体定義 | 32 |
| 4 - 5 . 辞書エラー種類一覧 | 32 |
| 4 - 6 . ATOK マウスイベント処理関係定義 | 33 |
| 4 - 7 . ATOK 機能キー番号定義 | 33 |
| 4 - 8 . 単語登録品詞取得用構造体定義 | 34 |
| 4 - 9 . 品詞名一覧 | 34 |
| 4 - 10 . ATOK 再変換用構造体定義 | 35 |
| 4 - 11 . ATOK 再変換用プライベートメッセージ文字列定義 | 35 |
| 4 - 12 . ATOK MakeRead(Low)構造体定義 | 36 |

1 . 概 要

本書は次のバージョンの ATOK に関するアプリケーションインターフェースの仕様を記述している。

ATOK12 for Windows

ATOK11 for Windows

ATOK10 for Windows

ATOK アプリケーションインターフェースは、IME 共通のコントロールをベースに ATOK 固有のものを追加している。これにより ATOK アプリケーションインターフェースを使用するアプリケーションは、使用中の IME を意識することなく制御が可能になる。

また、ATOK アプリケーションインターフェースを使用するための特別な手続きの必要はない。

なお、ATOK アプリケーションインターフェースは DLL(ATOKLIB.DLL)で提供される。

ATOK アプリケーションインターフェースを使用するにあたり、Windows95 の IME 制御についてを一読されることをお勧めする。

Multilingual IME Specification for Application, IMM function for the application

Microsoft Windows95 プログラマーズガイド(第 30 章)

(関数,メッセージの詳細については MSDN 等で提供される Microsoft Win32 Software Development Kit(SDK)または IMM.H を参照。)

また、ここでいう ATOK 固有の情報の追加とは、次のとおり。

ATOK 固有のモードの設定

ATOK 固有の出力情報の獲得

- ・ ATOK のユーザーインターフェースを実現するための情報(ATOK の表示をアプリケーション側で行う場合)
- ・ ネイティブな Unicode(書体情報含む)

ATOK11 までの API 仕様書をお使いの方へ...この仕様書での変更点

- ・ ATOK12 から有効になった API などを追加した。

2 . 関数仕様の、39. ~ 70.。

付録 4 - 10 . ~ 4 - 12 .

開発用ファイルについて

必要となる開発ファイルは次のとおり。

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| ・ ATOK12、ATOK11 でご利用の場合 | ... ATOKLIB.H、ATOKLIB.LIB |
| ・ ATOK10 でご利用の場合 | ... ATOKLIB.H、ATOK10WC.LIB |

第 2 版(1999 年 12 月 22 日)での変更点

- ・ 開発用ファイルに ATOK10WC.LIB を追加。
(追加したファイルは ATOK10 で利用するとき必要)
- ・ ATOK12、ATOK11、ATOK10 それぞれで必要となる開発ファイルを明記。
- ・ 関数「AT_SendVkeyEvent」の説明に「ATOK11 から有効」を追加。

2 . 関数仕様書

2 - 1 . 関数一覧

無 印...ATOK12 / ATOK11 / ATOK10で利用可能

* 印...ATOK12 / ATOK11で利用可能

** 印...ATOK12で利用可能

| No. | 名前 | 機能 |
|-------|------------------------------|-----------------------|
| 1. | AT_SetKoteiInput | 固定入力モード設定 |
| 2. | AT_GetKoteiInput | 固定入力モード取得 |
| 3. | AT_SetEijiInput | 英字入力モード設定 |
| 4. | AT_GetEijiInput | 英字入力モード取得 |
| 5. | AT_SetKutouten | 句読点組み合わせ設定 |
| 6. | AT_GetKutouten | 句読点組み合わせ取得 |
| 7. | AT_SetKougotaiTransMode | 口語体変換モード設定 |
| 8. | AT_GetKougotaiTransMode | 口語体変換モード取得 |
| 9. | AT_SetFukugougoTransKind | 複合語変換モード詳細設定 |
| 10. | AT_GetFukugougoTransKind | 複合語変換モード詳細取得 |
| 11. | AT_SetDefaultDicNo | 基本辞書セット番号設定 |
| 12. | AT_GetDefaultDicNo | 基本辞書セット番号取得 |
| 13. | AT_SetDicFileNameSet | 辞書セットごとの辞書ファイル名設定 |
| 14. | AT_GetDicFileNameSet | 辞書セットごとの辞書ファイル名取得 |
| 15. | AT_SetDicLearnMode | 辞書セットごとの学習モード設定 |
| 16. | AT_GetDicLearnMode | 辞書セットごとの学習モード取得 |
| 17. | AT_SetOkuriKind | 送りがなモード設定 |
| 18. | AT_GetOkuriKind | 送りがなモード取得 |
| 19. | AT_SetDicFileSetName | 辞書セットごとの名称設定 |
| 20. | AT_GetDicFileSetName | 辞書セットごとの名称取得 |
| * 21. | AT_SendMouseEvent | 未確定文字操作に関するマウスイベントを送る |
| * 22. | AT_SendVkeyEvent | ATOK機能キーイベントを送る |
| 23. | AT_GetIMECompCollInfo | IME未確定文字列表示色テーブルの取得 |
| 24. | AT_ImmGetAtCompositionPacket | ATOKComposition一括取得 |
| 25. | AT_ImmGetKanjiOn | 漢字ON/OFF状態取得 |
| 26. | AT_ImmSetKanjiOn | 漢字ON設定 |
| 27. | AT_ImmSetKanjiOff | 漢字OFF設定 |
| 28. | AT_ImmSetSentenceMode | 変換モード設定 |
| 29. | AT_ImmGetSentenceMode | 変換モード取得 |
| 30. | AT_ImmSetRomanMode | 漢字入力モード設定 |
| 31. | AT_ImmGetRomanMode | 漢字入力モード取得 |
| 32. | AT_ImmSetKanjiInputMode | 入力文字種設定 |
| 33. | AT_ImmGetKanjiInputMode | 入力文字種取得 |
| 34. | AT_ImmSetInputModeEx | 入力モード設定(固定入力含む) |
| 35. | AT_ImmGetInputModeEx | 入力モード取得(固定入力含む) |
| 36. | AT_ImmRegisterWord | 単語登録 |
| 37. | AT_ImmUnregisterWord | 単語削除 |
| 38. | AT_ImmGetRegisterWordStyle | 品詞リスト取得 |

(次ページへ続く)

無 印...ATOK12 / ATOK11 / ATOK10で利用可能

* 印...ATOK12 / ATOK11で利用可能

** 印...ATOK12で利用可能

| No. | 名前 | 機能 |
|-----|------------------------------------|-----------------------|
| ** | 39. AT_GetATOKHkl | ATOKバージョンごとのHKL取得 |
| ** | 40. AT_IsATOKDefaultIME | ATOKが標準IMEかの検査 |
| ** | 41. AT_IsATOKInstall | ATOKがインストール済みかの検査 |
| ** | 42. AT_SetDefaultIME | 標準IMEへの設定 |
| ** | 43. AT_GetATOKLatestInstallVersion | 最新ATOKのインストールバージョンの取得 |
| ** | 44. AT_SetProofMode | 校正支援モードの設定 |
| ** | 45. AT_GetProofMode | 校正支援モードの取得 |
| ** | 46. AT_SetProofCharCodeKind | 校正支援機種依存文字指摘組み合わせの設定 |
| ** | 47. AT_GetProofCharCodeKind | 校正支援機種依存文字指摘組み合わせの取得 |
| ** | 48. AT_SetFullHalfConvertMode | 全角半角変換モードの設定 |
| ** | 49. AT_GetFullHalfConvertMode | 全角半角変換モードの取得 |
| ** | 50. AT_SetFullHalfConvertKind | 全角半角変換対象文字種の設定 |
| ** | 51. AT_GetFullHalfConvertKind | 全角半角変換対象文字種の取得 |
| ** | 52. AT_SetFullHalfConvertSymbolStr | 全角半角変換記号指定の設定 |
| ** | 53. AT_GetFullHalfConvertSymbolStr | 全角半角変換記号指定の取得 |
| ** | 54. AT_SetFullHalfConvertScope | 全角半角変換適応拡張指定の設定 |
| ** | 55. AT_GetFullHalfConvertScope | 全角半角変換適応拡張指定の取得 |
| ** | 56. AT_SetPalletDispMode | パレット常時表示有無の設定 |
| ** | 57. AT_GetPalletDispMode | パレット常時表示有無の取得 |
| ** | 58. AT_SetPalletToTaskBar | パレットタスクバー化有無の設定 |
| ** | 59. AT_GetPalletToTaskBar | パレットタスクバー化有無の取得 |
| ** | 60. AT_SetTrayIconMode | トレイへのモード表示有無の設定 |
| ** | 61. AT_GetTrayIconMode | トレイへのモード表示有無の取得 |
| ** | 62. AT_SetClickPalletStatus | クリックパレット表示状態の設定 |
| ** | 63. AT_GetClickPalletStatus | クリックパレット表示状態の取得 |
| ** | 64. AT_SetFuncGuideStatus | ファンクションキーガイド表示状態の設定 |
| ** | 65. AT_GetFuncGuideStatus | ファンクションキーガイド表示状態の取得 |
| ** | 66. AT_SetFuncGuidePosition | ファンクションキーガイド表示位置の設定 |
| ** | 67. AT_GetFuncGuidePosition | ファンクションキーガイド表示位置の取得 |
| ** | 68. AT_ImmSetReconvertString | 再変換対象文字列の設定 |
| ** | 69. AT_ImmMakeRead | 文字列からの読み情報の取得 |
| ** | 70. AT_ImmMakeReadList | 文字列からの読み候補一覧の取得 |

2 - 2 . 各関数の仕様

1.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_SetKoteiInput(HIMC hIMC, int mode) |
| 機能概要 | 固定入力モード設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル int mode ... 設定する固定入力モード ATKOTEI_OFF ... 固定解除 ATHIRAGANA_KOTEI ... ひらがな固定 ATZENKAKU_KATAKANA_KOTEI ... カタカナ固定 ATZENKAKU_EISU_KOTEI ... 英数固定 ATHANKAKU_KATAKANA_KOTEI ... カタカナ半角固定 ATHANKAKU_EISU_KOTEI ... 英数半角固定 |
| 出力 | 正常終了 ... 以前の固定入力モード 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | |

2.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_GetKoteiInput(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | 固定入力モードの読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在の固定入力モード ATKOTEI_OFF ... 固定解除 ATHIRAGANA_KOTEI ... ひらがな固定 ATZENKAKU_KATAKANA_KOTEI ... カタカナ固定 ATZENKAKU_EISU_KOTEI ... 英数固定 ATHANKAKU_KATAKANA_KOTEI ... カタカナ半角固定 ATHANKAKU_EISU_KOTEI ... 英数半角固定 異常終了 ... AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | |

3.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_SetEijiInput(HIMC hIMC, int mode) |
| 機能概要 | 英字入力モードの設定 |
| 入力 | int mode ... 設定する英字入力モード AT_OFF ... OFF AT_ON ... ON |
| 出力 | 正常終了 ... 以前の英字入力モード 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | |

4.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_GetEijiInput(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | 英字入力モードの読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在の英字入力モード AT_OFF ... OFF AT_ON ... ON 異常終了 ... AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | |

5.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_SetKutouten(HIMC hIMC, int mode) |
| 機能概要 | 句読点組み合わせの設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル int mode ... 次のビットの組み合わせで指定する ATKUTOUTEN_KIGOU ・ ... 1 / ... 0 ATKUTOUTEN_KAKKO 「 」... 1 []... 0 ATKUTOUTEN_KUTEN 。 ... 1 0 ATKUTOUTEN_TOUTEN 、 ... 1 , ... 0 |
| 出力 | 正常終了 ... 以前の句読点組み合わせの設定値 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | 指定された値が範囲外の場合は、設定せずにエラーで復帰する。 |

6.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_GetKutouten(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | 句読点組み合わせの読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在の句読点組み合わせ設定値 次のビットの組み合わせで取得できる ATKUTOUTEN_KIGOU ・ ... 1 / ... 0 ATKUTOUTEN_KAKKO 「 」... 1 []... 0 ATKUTOUTEN_KUTEN 。 ... 1 0 ATKUTOUTEN_TOUTEN 、 ... 1 , ... 0 異常終了 ... AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | |

7.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_SetKougotaiTransMode(HIMC hIMC, int mode) |
| 機能概要 | 口語体変換モードの設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル int mode ... 設定する口語体変換モード AT_ON ... OFF AT_OFF ... ON |
| 出力 | 正常終了 ... 以前の口語体変換の設定 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | 未確定文字がある場合、あるいは指定された値が範囲外の場合は、設定せずにエラーで復帰する。 |

8.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_GetKougotaiTransMode(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | 口語体変換モードの読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在の口語体変換モードの設定 AT_OFF ... OFF AT_ON ... ON |
| | 異常終了 ... AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | |

9.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_SetFukugougoTransKind(HIMC hIMC, int mode) |
| 機能概要 | 複合語変換モード詳細の設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル int mode ... 設定する複合語変換モード詳細 ATFUKUGOUGO_TSUJYO 通常 ATFUKUGOUGO_JINMEIYUSEN 人名優先 ATFUKUGOUGO_CHIMEIYUSEN 地名優先 |
| 出力 | 正常終了 ... 以前の複合語変換モード詳細の設定 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | AT_ImmSetSentenceModeで ATFUKUGOUGO (複合語変換モード)にしたときに有効。 未確定文字がある場合、あるいは指定された値が範囲外の場合は、設定せずにエラーで復帰する。 |

10.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_GetFukugougoTransKind(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | 複合語変換モード詳細の読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在の複合語変換モード詳細の設定 ATFUKUGOUGO_TSUJYO 通常 ATFUKUGOUGO_JINMEIYUSEN 人名優先 ATFUKUGOUGO_CHIMEIYUSEN 地名優先 |
| | 異常終了 ... AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | |

11.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_SetDefaultDicNo(HIMC hIMC, int mode) |
| 機能概要 | 基本辞書セット番号の設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル int mode ... 設定する辞書セット番号 辞書1～辞書0 ATDICNO_1～ATDICNO_0 |
| 出力 | 正常終了 ... 以前の辞書セット番号 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | 未確定文字がある場合、あるいは指定された値が範囲外の場合は、設定せずにエラーで復帰する。 |

12.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_GetDefaultDicNo(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | 基本辞書セット番号の読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在の辞書セット番号 辞書1～辞書0 ATDICNO_1～ATDICNO_0 |
| | 異常終了 ... AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | |

13.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_SetDicFileNameSet(HIMC hIMC, int fno, ATDICFILENAMESET *lpDicNamePack) |
| 機能概要 | 辞書セットごとの辞書ファイル名設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| | int fno ... 辞書セット番号 辞書1～辞書0 ATDICNO_1～ATDICNO_0 |
| | ATDICFILENAMESET *lpDicNamePack...辞書ファイル名設定構造体アドレス |
| 出力 | 正常終了 ... AT_OK |
| | 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATDICFILENAMESETのメンバについて・・・付録4-4参照 <ul style="list-style-type: none"> ・設定内容は、ATDICFILENAME_MAXバイト以内のシフトJIS文字列である。 ・NULLポインタを設定した場合、設定されることはない(ただし、システム辞書ファイルパスの項目を除く)。 ・辞書セット内の一部の辞書ファイル名を変更する場合、AT_GetDicFileNameSetにより取得した後、変更する。 未確定文字がある場合、あるいは指定された値が範囲外の場合は、設定せずにエラーで復帰する。 |

14.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_GetDicFileNameSet(HIMC hIMC, int fno, ATDICFILENAMESET *lpDicNamePack) |
| 機能概要 | 辞書セットごとの辞書ファイル名の読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| | int fno ... 辞書セット番号 辞書1～辞書0 ATDICNO_1～ATDICNO_0 |
| | ATDICFILENAMESET *lpDicNamePack...辞書ファイル名設定構造体アドレス |
| 出力 | 正常終了 ... AT_OK |
| | 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATDICFILENAMESETのメンバについて・・・付録4-4参照 <ul style="list-style-type: none"> ・設定される内容は、ATDICFILENAME_MAXバイト以内のシフトJIS文字列である。 指定された値が範囲外の場合は、設定せずにエラーで復帰する。 |

21.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_SendMouseEvent(HIMC hIMC, int fnc, int posX, int posXinf) |
| 機能概要 | 未確定文字操作に関するマウスイベントを送る |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| | int fnc マウスイベント(定義ATMSE_*参照) |
| | int posX 未確定文字先頭からの文字位置(1~100) |
| | int posXinf 文字位置詳細情報 ATMSP_FCHAR 文字位置前半 ATMSP_BCHAR 文字位置後半 |
| 出力 | 正常終了 ... AT_OK |
| | 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOK11から有効。 マウスイベント処理関係の定義は、付録4 - 6 . を参照。 |

22.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_SendVkeyEvent(HIMC hIMC, int Vkeyno) |
| 機能概要 | ATOK機能キーイベントを送る |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| | int fnc ATOK機能キー番号. |
| 出力 | 正常終了 ... AT_OK |
| | 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOK11から有効。 ATOK機能キー番号は、付録4 - 7 . を参照。 |

23.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_GetIMECompCollInfo(HIMC, ATIMECOMPCOL_TBL *) |
| 機能概要 | IME未確定文字列表示色情報の取得 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... AT_OK |
| 特記事項 | sizeof(ATIMECOMPCOL_TBL)の表示色情報がコピーされる。 未確定文字表示色構造体定義は付録4 - 3 . を参照。 |

24.

| | |
|------|---|
| 名前 | BOOL WINAPI AT_ImmGetAtCompositionPacket(HIMC hIMC, DWORD dwIndex, LPATOKCOMPOSITIONPACK lpATOKCompositionPack) |
| 機能概要 | ATOK Composition情報の一括取得 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| | DWORD dwIndex 取得するComposition情報 (要求内容はIMM.H定義のGCS_xxに準拠する) |
| | LPATOKCOMPOSITIONPACK lpATOKCompositionPack ... 取得するComposition情報格納エリアのポインタ |
| 出力 | 正常終了 ... TRUE |
| | 異常終了 ... FALSE |
| 特記事項 | ATOKCOMPOSITIONPACKの詳細は、付録4 - 2 . を参照。 取得データはUnicode文字列で格納される。 |

25.

| | |
|------|---|
| 名前 | BOOL WINAPI AT_ImmGetKanjiOn(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | 漢字ON状態の取得 |
| 入力 | HIMC hIMC ...使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 現在の漢字ON/OFF状態 FALSE ... OFF TRUE ... ON |
| 特記事項 | |

26.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_ImmSetKanjiOn(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | 漢字ON |
| 入力 | HIMC hIMC ...使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ...以前の漢字ON/OFF状態 AT_OFF ... OFF AT_ON ... ON 異常終了 ...AT_FAIL 設定エラー |
| 特記事項 | |

27.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_ImmSetKanjiOff(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | 漢字OFF |
| 入力 | HIMC hIMC ...使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ...以前の漢字On/Off状態 AT_OFF ... OFF AT_ON ... ON 異常終了 ...AT_FAIL 設定エラー |
| 特記事項 | |

28.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_ImmSetSentenceMode(HIMC hIMC, int mode) |
| 機能概要 | 変換モード設定 |
| 入力 | HIMC hIMC ... 使用するInputContextハンドル int mode ... 設定する変換モード ATRENBUNSETSU ... 連文節 ATFUKUGOUGO ... 複合語 ATJIDOHENKAN ... 自動 |
| 出力 | 正常終了 ... 以前の変換モード 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー |
| 特記事項 | 未確定文字がある場合、あるいは指定された値が範囲外の場合は、設定せずにエラーで復帰する。 |

29.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_ImmGetSentenceMode(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | 変換モードの読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在の変換モード ATRENBUNSETSU ... 連文節 ATFUKUGOUGO ... 複合語 ATJIDOHENKAN ... 自動 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー |
| 特記事項 | |

30.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_ImmSetRomanMode(HIMC hIMC, int mode) |
| 機能概要 | 設定する漢字入力モード |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル int mode ... 設定する漢字入力モード ATKANJI_ROMAJI ... ローマ字漢字 ATKANJI_KANA ... カナ漢字 |
| 出力 | 正常終了 ... 以前の漢字入力モード 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー |
| 特記事項 | 未確定文字がある場合、あるいは指定された値が範囲外の場合は、設定せずにエラーで復帰する。 |

31.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_ImmGetRomanMode(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | 漢字入力モードの読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在の漢字入力モード ATKANJI_ROMAJI ... ローマ字漢字 ATKANJI_KANA ... カナ漢字 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー |
| 特記事項 | |

32.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_ImmSetKanjiInputMode(HIMC hIMC, int mode) |
| 機能概要 | 入力文字種の設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル int mode ... 設定する入力文字種 ATHIRAGANA ... 全角ひらがな ATZENKAKU_KATAKANA ... 全角カタカナ ATZENKAKU_EISU ... 全角英数 ATHANKAKU_KATAKANA ... 半角カタカナ ATHANKAKU_EISU ... 半角英数 |
| 出力 | 正常終了 ... 以前の入力文字種 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー |
| 特記事項 | |

33.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_ImmGetKanjiInputMode(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | 入力文字種の読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在の入力文字種 ATHIRAGANA ... 全角ひらがな ATZENKAKU_KATAKANA ... 全角カタカナ ATZENKAKU_EISU ... 全角英数 ATHANKAKU_KATAKANA ... 半角カタカナ ATHANKAKU_EISU ... 半角英数 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー |
| 特記事項 | |

34.

| | | |
|------|--|----------------------|
| 名前 | int WINAPI AT_ImmSetInputModeEx(HIMC hIMC, int mode) | |
| 機能概要 | 入力モードの設定 | |
| 入力 | HIMC hIMC | 使用するInputContextハンドル |
| | int mode ... | 設定する入力モード |
| | ATKANJIINPUT | 現在設定中の文字種に従う漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_HIRAGANA | 全角ひらがな文字種(あ)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_ZENKAKU_KATAKANA | 全角カタカナ文字種(ア)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_ZENKAKU_EISU | 全角無変換文字種(A)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_HANKAKU_KATAKANA | 半角カタカナ文字種(ア)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_HANKAKU_EISU | 半角英数文字種(A)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_HIRAGANA_KOTEI | 全角ひらがな固定(あ)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_ZENKAKU_KATAKANA_KOTEI | 全角カタカナ固定(ア)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_ZENKAKU_EISU_KOTEI | 全角英数固定(A)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_HANKAKU_KATAKANA_KOTEI | 半角カタカナ固定(ア)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_HANKAKU_EISU_KOTEI | 半角英数固定(A)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_ZENKAKU_EIJI | 全角英字入力(*)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_HANKAKU_EIJI | 半角英字入力(*)の漢字入力モード |
| | ATHANKAKUINPUT | 現在設定中半角モードに従う半角入力モード |
| | ATHANKAKUINPUT_TUJYO | 通常半角入力モード |
| | ATHANKAKUINPUT_HATSUON | 発音半角入力モード |
| | ATHANKAKUINPUT_DOITSUGO | 独語半角入力モード |
| | ATHANKAKUINPUT_FRANSUGO | 仏語半角入力モード |
| | ATCODEINPUT | コード入力モード |
| | ATKIGOUINPUT | 記号入力モード |
| 出力 | 正常終了 ... | 以前の入力モード |
| | ATKANJIINPUT_HIRAGANA | 全角ひらがな文字種(あ)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_ZENKAKU_KATAKANA | 全角カタカナ文字種(ア)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_ZENKAKU_EISU | 全角英数文字種(A)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_HANKAKU_KATAKANA | 半角カタカナ文字種(ア)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_HANKAKU_EISU | 半角英数文字種(A)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_HIRAGANA_KOTEI | 全角ひらがな固定(あ)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_ZENKAKU_KATAKANA_KOTEI | 全角カタカナ固定(ア)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_ZENKAKU_EISU_KOTEI | 全角英数固定(A)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_HANKAKU_KATAKANA_KOTEI | 半角カタカナ固定(ア)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_HANKAKU_EISU_KOTEI | 半角英数固定(A)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_ZENKAKU_EIJI | 全角英字入力(*)の漢字入力モード |
| | ATKANJIINPUT_HANKAKU_EIJI | 半角英字入力(*)の漢字入力モード |
| | ATHANKAKUINPUT_TUJYO | 通常半角入力モード |
| | ATHANKAKUINPUT_HATSUON | 発音半角入力モード |
| | ATHANKAKUINPUT_DOITSUGO | 独語半角入力モード |
| | ATHANKAKUINPUT_FRANSUGO | 仏語半角入力モード |
| | ATCODEINPUT | コード入力モード |
| | ATKIGOUINPUT | 記号入力モード |
| | 異常終了 ... | AT_FAIL 設定エラー |
| 特記事項 | | |

35.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_ImmGetInputModeEx(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | 入力モードの読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在の入力モード ATKANJIINPUT_HIRAGANA 全角ひらがな文字種(あ)の漢字入力モード ATKANJIINPUT_ZENKAKU_KATAKANA 全角カタカナ文字種(ア)の漢字入力モード ATKANJIINPUT_ZENKAKU_EISU 全角英数文字種(A)の漢字入力モード ATKANJIINPUT_HANKAKU_KATAKANA 半角カタカナ文字種(ア)の漢字入力モード ATKANJIINPUT_HANKAKU_EISU 半角英数文字種(A)の漢字入力モード ATKANJIINPUT_HIRAGANA_KOTEI 全角ひらがな固定(あ)の漢字入力モード ATKANJIINPUT_ZENKAKU_KATAKANA_KOTEI 全角カタカナ固定(ア)の漢字入力モード ATKANJIINPUT_ZENKAKU_EISU_KOTEI 全角英数固定(A)の漢字入力モード ATKANJIINPUT_HANKAKU_KATAKANA_KOTEI 半角カタカナ固定(ア)の漢字入力モード ATKANJIINPUT_HANKAKU_EISU_KOTEI 半角英数固定(A)の漢字入力モード ATKANJIINPUT_ZENKAKU_EIJI 全角英字入力(*)の漢字入力モード ATKANJIINPUT_HANKAKU_EIJI 半角英字入力(*)の漢字入力モード ATHANKAKUINPUT_TUJYO 通常半角入力モード ATHANKAKUINPUT_HATSUON 発音半角入力モード ATHANKAKUINPUT_DOITSUGO 独語半角入力モード ATHANKAKUINPUT_FRANSUGO 仏語半角入力モード ATCODEINPUT コード入力モード ATKIGOUIINPUT 記号入力モード 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー |
| 特記事項 | |

36.

| | |
|------|--|
| 名前 | BOOL WINAPI AT_ImmRegisterWord(HIMC hIMC, WCHAR *lpwzRegReading, WCHAR *lpwzRegString, DWORD dwStyle, DWORD *lpErrorInf) |
| 機能概要 | 単語登録 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル WCHAR *lpwzRegReading 読み文字列(Unicode文字列)アドレス WCHAR *lpwzRegWord 表記文字列(Unicode文字列)アドレス DWORD dwStyle 品詞番号 DWORD *lpErrorInf エラー詳細情報格納アドレス |
| 出力 | 正常終了 ... TRUE 異常終了 ... FALSE |
| 特記事項 | ATOKの単語登録ダイアログを開くことなく単語登録を実行する。 品詞番号はAT_ImmGetRegisterWordStyleで取得した品詞対応表から選択する。 エラー詳細情報は、付録4 - 5 を参照。 エラー詳細情報は、ATOK以外を選択中は常に0である。 |

37.

| | |
|------|--|
| 名前 | BOOL WINAPI AT_ImmUnregisterWord(HIMC hIMC, WCHAR *lpwzRegReading, WCHAR *lpwzRegString, DWORD dwStyle, DWORD *lpErrorInf) |
| 機能概要 | 単語削除 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル WCHAR *lpwzRegReading 読み文字列(Unicode文字列)アドレス WCHAR *lpwzRegWord 表記文字列(Unicode文字列)アドレス DWORD dwStyle 品詞番号 DWORD *lpErrorInf エラー詳細情報格納アドレス |
| 出力 | 正常終了 ... TRUE 異常終了 ... FALSE |
| 特記事項 | ATOKのダイアログを開くことなく単語削除を実行する。 品詞番号はAT_ImmGetRegisterWordStyleで取得した品詞対応表から選択する。 ATOK選択中の場合、品詞番号を ATDELETEALLHINSHI と設定することで、該当する全品詞を対象とすることができる。 エラー詳細情報は、付録4 - 5 . を参照。 |

38.

| | |
|------|--|
| 名前 | UINT WINAPI AT_ImmGetRegisterWordStyle(UINT nItem, LPATREGSTYLEBUF lpAtRegStyleBuf) |
| 機能概要 | IMEの単語品詞総数を取得する(nItemが0の場合) IMEの単語品詞番号と品詞名の対応表を取得する(品詞名はUCS2コード文字列で返る) |
| 入力 | UINT nItem 対応表の受け入れ数 LPATREGSTYLEBUF lpAtRegStyleBuf 対応表格納バッファアドレス |
| 出力 | コピーされた品詞対応表の数 |
| 特記事項 | 対応表取得にはnItem*sizeof(ATREGSTYLEBUF)バイトの領域を必要とする。 付録4 - 8 . を参照のこと ATOK10/ATOK11は同じ品詞体系。品詞名の一覧は、付録4 - 9 . を参照。 |

39.

| | |
|------|--|
| 名前 | BOOL WINAPI AT_GetATOKHKL(int ATOKNo, HKL *phKL) |
| 機能概要 | ATOKのHKL(キーボードレイアウト登録番号)を取得する |
| 入力 | int ATOKNo ATOKのバージョン 10~ (ATOK10~) HKL * phKL HKL格納アドレス |
| 出力 | 正常終了 ... TRUE 異常終了 ... FALSE |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 |

40.

| | | |
|------|---|---|
| 名前 | BOOL WINAPI AT_IsATOKDefaultIME(int ATOKNo, int mode) | |
| 機能概要 | ATOKが標準IMEとして設定されているかどうか検査する | |
| 入力 | int ATOKNo | ATOKのバージョン 10～ (ATOK10～) |
| | int mode | 検査のモード ATCHECKVERSION 指定のバージョンどおり ATCHECKVERSION_ORGREATER 指定のバージョンどおりまたはそれ以上 |
| 出力 | TRUE | 設定されている |
| | FALSE | 設定されていない |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 | |

41.

| | | |
|------|--|--|
| 名前 | BOOL WINAPI AT_IsATOKInstall(int ATOKNo, int mode) | |
| 機能概要 | ATOKがインストールされているかどうか検査する | |
| 入力 | int ATOKNo | ATOKのバージョン 10～ (ATOK10～) |
| | int mode | 検査のモード ATCHECKVERSION 指定のバージョンのもの ATCHECKVERSION_ORGREATER 指定のバージョンのものまたはそれ以上か |
| 出力 | TRUE | 設定されている |
| | FALSE | 設定されていない |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 | |

42.

| | | |
|------|--|--------------|
| 名前 | BOOL WINAPI AT_SetDefaultIME(HKL hKL) | |
| 機能概要 | 指定のHKL(キーボードレイアウト登録番号)のIMEを標準のIMEとして設定する | |
| 入力 | HKL hKL | キーボードレイアウト番号 |
| 出力 | 正常終了 | ... TRUE |
| | 異常終了 | ... FALSE |
| 特記事項 | 「コントロールパネル - キーボードのプロパティ」で指定する IME を標準に設定する動作と同じ。 ATOK12から有効。 | |

43.

| | | |
|------|---|--------------------------|
| 名前 | int WINAPI AT_GetATOKLatestInstallVersion(VOID) | |
| 機能概要 | インストールされている最新のATOKバージョンを取得する | |
| 入力 | 無し | |
| 出力 | 正常終了 | ... 10～ (ATOK10～) |
| | 異常終了 | ... AT_NOTINSTALL ATOK無し |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 | |

44.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_SetProofMode(HIMC hIMC, int mode) |
| 機能概要 | 校正支援モードの設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル int mode ... 設定する校正支援使用有無 AT_OFF 無し AT_ON 有り |
| 出力 | 正常終了 ... 以前の校正支援モードの設定 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | |

45.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_GetProofMode(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | 校正支援モードの読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在の校正支援モード AT_OFF 無し AT_ON 有り 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | |

46.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_SetProofCharCodeKind(HIMC hIMC, int mode) |
| 機能概要 | 校正支援機種依存文字指摘組み合わせの設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル int mode ... 設定する校正支援機種依存文字指摘組み合わせ ATIZONMOJI_GAIJI 外字 ATIZONMOJI_EXCLUDEJISCODE JISコード以外 ATIZONMOJI_EXCLUDESHIFTJISCODE シフトJISコード以外 |
| 出力 | 正常終了 ... 以前の校正支援機種依存文字指摘組み合わせの設定 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 |

47.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_GetProofCharCodeKind(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | 校正支援機種依存文字指摘組み合わせの読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在の校正支援機種依存文字指摘組み合わせの設定 ATIZONMOJI_GAIJI 外字 ATIZONMOJI_EXCLUDEJISCODE JISコード以外 ATIZONMOJI_EXCLUDESHIFTJISCODE シフトJISコード以外 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 |

48.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_SetFullHalfConvertMode(HIMC hIMC, int mode) |
| 機能概要 | 全角半角変換モードの設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル int mode ... 設定する全角半角変換モード AT_OFF 無し AT_ON 有り |
| 出力 | 正常終了 ... 以前の全角半角変換モード 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 |

49.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_GetFullHalfConvertMode(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | 全角半角変換モードの読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在の全角半角変換モード AT_OFF 無し AT_ON 有り 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 |

50.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_SetFullHalfConvertKind(HIMC hIMC, int kind, int mode) |
| 機能概要 | 全角半角変換対象文字種の設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル int kind ... 変換対象 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_TAISYOU_KATAKANA カタカナ ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_TAISYOU_EIJI 英字 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_TAISYOU_SUUJI 数字 int mode ... 全角半角変換指定 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_NONE しない ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_HANKAKU 半角 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_ZENKAKU 全角 |
| 出力 | 正常終了 ... 以前の全角半角変換指定 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 |

51.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_GetFullHalfConvertKind(HIMC hIMC, int kind) |
| 機能概要 | 全角半角変換対象文字種の読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| | int kind ... 変換対象 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_TAISYOU_KATAKANA カタカナ ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_TAISYOU_EIJI 英字 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_TAISYOU_SUUJI 数字 |
| 出力 | 正常終了 ... 現在の全角半角変換指定 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_NONE しない ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_HANKAKU 半角 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_ZENKAKU 全角 |
| | 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 |

52.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_SetFullHalfConvertSymbolStr(HIMC hIMC, int mode, LPSTR lpStr) |
| 機能概要 | 全角半角変換記号指定の設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| | int mode ... 変換対象 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_KIGOUSHITEI_HANKAKU 半角変換指定 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_KIGOUSHITEI_ZENKAKU 全角変換指定 |
| | LPSTR lpStr ... 記号指定文字列アドレス |
| 出力 | 正常終了 ... AT_OK |
| | 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | 記号指定文字列はASCII半角文字列(0x20 ~ 0xEF)で構成された38文字以内の文字列である ATOK12から有効。 |

53.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_GetFullHalfConvertSymbolStr(HIMC hIMC, int mode, LPSTR lpStr) |
| 機能概要 | 全角半角変換記号指定の読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| | int mode ... 変換対象 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_KIGOUSHITEI_HANKAKU 半角変換指定 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_KIGOUSHITEI_ZENKAKU 全角変換指定 |
| | LPWSTR lpStr ... 記号指定文字列アドレス |
| 出力 | 正常終了 ... AT_OK |
| | 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | 記号指定文字列はASCII半角文字列(0x20 ~ 0xEF)で構成された38文字以内の文字列である ATOK12から有効。 |

54.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_SetFullHalfConvertScope(HIMC hIMC, int func, int mode) |
| 機能概要 | 全角半角変換モード適応拡張指定の設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| | int func ... 適応拡張の対象 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_TEKIOU_INPUTMOJI 入力文字にも適応 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_TEKIOU_USERTANGO ユーザ単語にも適応 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_TEKIOU_ATOHENKAN 後変換操作にも適応 |
| | int mode ... 適応有り/無し AT_OFF 無し AT_ON 有り |
| 出力 | 正常終了 ... 以前の全角半角変換モード適応拡張指定の設定 |
| | 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 |

55.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_GetFullHalfConvertScope(HIMC hIMC, int func) |
| 機能概要 | 全角半角変換モード適応拡張指定の読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| | int func ... 適応拡張の対象 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_TEKIOU_INPUTMOJI 入力文字にも適応 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_TEKIOU_USERTANGO ユーザ単語にも適応 ATZENKAKUHANKAKUHENKAN_TEKIOU_ATOHENKAN 後変換操作にも適応 |
| 出力 | 正常終了 ... 現在の全角半角変換モード適応拡張指定の設定 AT_OFF 無し AT_ON 有り |
| | 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 |

56.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_SetPalletDispMode(HIMC hIMC, int mode) |
| 機能概要 | ATOKパレット常時表示有無の設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| | int mode ... 設定するパレット常時表示有無 AT_OFF 無し AT_ON 有り |
| 出力 | 正常終了 ... 以前のパレット常時表示有無の設定 |
| | 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | (IME OFFでは)設定値変更時、パレットの再描画が行われる。 ATOK12から有効。 |

57.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_GetPalletDispMode(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | ATOKパレット常時表示有無の読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在のパレット常時表示有無の設定 AT_OFF 無し AT_ON 有り |
| | 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 |

58.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_SetPalletToTaskBar(HIMC hIMC, int mode, int pos) |
| 機能概要 | ATOKパレットタスクバー結合有無の設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| | int mode ... 設定するATOKパレットのタスクバー化有無 AT_OFF タスクバー化OFF AT_ON タスクバー化ON |
| | int pos ... タスクバー化ON時の位置指定 ATPOS_LEFT 左 ATPOS_TOP 上 ATPOS_RIGHT 右 ATPOS_BOTTOM 下 |
| 出力 | 正常終了 ... 以前のATOKパレットのタスクバー化有無 |
| | 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | タスクバー化をすべて解除するにはATOKパレットとファンクションガイドの双方に対して制御する必要がある。 ATOK12から有効。 |

59.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_GetPalletToTaskBar(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | ATOKパレットタスクバー結合有無の読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在のATOKパレットのタスクバー化有無 AT_OFF タスクバー化OFF AT_ON タスクバー化ON |
| | 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 |

60.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_SetTrayIconMode(HIMC hIMC, int mode) |
| 機能概要 | トレイへのモード表示有無の設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル int mode ... 設定するトレイへのモード表示有無 AT_OFF 無し AT_ON 有り |
| 出力 | 正常終了 ... 以前のトレイへのモード表示有無の設定 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOKモード表示方式の選択を行う(トレイ/ATOKパレット)。 ATOK12から有効。 |

61.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_GetTrayIconMode(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | トレイへのモード表示有無の読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在のトレイへのモード表示有無の設定 AT_OFF 無し AT_ON 有り 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 |

62.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_SetClickPalletStatus(HIMC hIMC, int mode) |
| 機能概要 | クリックパレット表示状態の設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル int mode ... 設定するクリックパレット表示状態 AT_OFF OFF AT_ON ON |
| 出力 | 正常終了 ... 以前のクリックパレット表示状態 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | クリックパレット表示/消去。 ATOK12から有効。 |

63.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_GetClickPalletStatus(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | クリックパレット表示状態の読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在のクリックパレット表示状態 AT_OFF OFF AT_ON ON 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 |

64.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_SetFuncGuideStatus(HIMC hIMC, int mode) |
| 機能概要 | ファンクションキーガイド表示状態の設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル int mode ... 設定するファンクションキーガイド表示状態 AT_OFF OFF AT_ON ON |
| 出力 | 正常終了 ... 以前のファンクションキーガイド表示状態 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ファンクションキーガイド表示/消去。 ATOK12から有効。 |

65.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_GetFuncGuideStatus(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | ファンクションキーガイド表示状態の読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在のファンクションキーガイド表示状態 AT_OFF OFF AT_ON ON 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 |

66.

| | |
|------|--|
| 名前 | int WINAPI AT_SetFuncGuidePosition(HIMC hIMC, int mode, int pos) |
| 機能概要 | ファンクションキーガイド表示位置情報の設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル int mode ... 設定するファンクションキーガイド表示位置情報 AT_OFF タスクバー化OFF AT_ON タスクバー化ON int pos ... タスクバー化ON時の位置指定 ATPOS_LEFT 左 ATPOS_TOP 上 ATPOS_RIGHT 右 ATPOS_BOTTOM 下 ATPOS_LAST 前回の位置指定に従う |
| 出力 | 正常終了 ... 以前のファンクションキーガイド表示位置 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ファンクションキーガイド表示位置の制御。 タスクバー化をすべて解除するにはATOKパレットとファンクションガイドの双方に対して制御する必要がある。 ATOK12から有効。 |

67.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_GetFuncGuidePosition(HIMC hIMC) |
| 機能概要 | ファンクションキーガイド表示位置の読み出し |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| 出力 | 正常終了 ... 現在のファンクションキーガイド表示位置 AT_OFF タスクバー化OFF AT_ON タスクバー化ON |
| | 異常終了 ... AT_FAIL 設定エラー AT_NOTATOK 選択中のIMEがATOKでない |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 |

68.

| | |
|------|--|
| 名前 | BOOL WINAPI AT_ImmSetReconvertString(HIMC hIMC, int op, LPATRECONVERTSTRING pReconv, DWORD size) |
| 機能概要 | 再変換対象文字列の設定 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| | int op オペレーション ATRECONVERTSTRING_QUERY 問い合わせ ATRECONVERTSTRING_SET 設定 (SCS_XXRECONVERTSTRINGに準拠) |
| | LPATRECONVERTSTRING pReconv 設定する再変換要求情報のポインタ (RECONVERTSTRING構造体に準拠) |
| | DWORD size 再変換要求構造体のサイズ(バイト数) |
| 出力 | 正常終了 ... TRUE |
| | 異常終了 ... FALSE |
| 特記事項 | ATOK12から有効。 ImmSetCompositionString(SCS_XXRECONVERTSTRING)の使用法に準拠。 LPATRECONVERTSTRINGについては付録4 - 10 . を参照。 再変換の仕組みが用意されていないWindows95 / WindowsNT3.5 以降のWindows 上でも利用可能。 プライベート再変換用メッセージ文字列定義については付録4 - 11 . を参照。 |

69.

| | |
|------|--|
| 名前 | BOOL WINAPI AT_ImmMakeRead(HIMC hIMC, LPWSTR pComp, LPATOKMAKEREADLOW pMakeReadPack) |
| 機能概要 | 文字列からの読み情報生成 |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| | LPWSTR pComp 入力文字列(UCS2コード)アドレス |
| | LPATOKMAKEREADLOW pMakeReadPack 読み情報格納構造体アドレス |
| 出力 | 正常終了 ... TRUE |
| | 異常終了 ... FALSE |
| 特記事項 | <p>LPATOKMAKEREADLOWのメンバについては付録 4 - 1 2 . を参照。 入力文字列はATMAKEREADSTRCTR_MAX文字以内のUnicode文字列である。 出力読み情報について、メンバAtMakeReadReadには、ATMAKEREADREADCTR_MAX文字以内の読み文字列(Unicode文字列)が格納される。 メンバAtMakeReadCIsInfoには、自立語か否かの情報が格納される。 ただし、ATOK以外では、区切り情報は取得できない(常に1)。 例) 試合に勝った シアイニカッタ 00000000,00000002,00000003,00000004,00000005,00000006 00000000,00000003,00000004,00000005,00000006,00000007, 1,0,1,0,0, -> /* シアイ / ニ /* カ / ッ / タ /</p> <p>ATOK12から有効。</p> |

70.

| | |
|------|---|
| 名前 | int WINAPI AT_ImmMakeReadList(HIMC hIMC, LPWSTR pComp, LPCANDIDATELIST pCand, DWORD dwCandSize) |
| 機能概要 | 文字列からの読み情報生成(候補リスト) |
| 入力 | HIMC hIMC 使用するInputContextハンドル |
| | LPWSTR pComp 入力文字列(UCS2コード)アドレス |
| | LPCANDIDATELIST pCand 候補情報格納構造体アドレス |
| | DWORD dwCandSize 候補情報格納領域サイズ(バイト) (0のとき、必要領域の問い合わせ) |
| 出力 | 候補情報への書き込みバイト数 (<0 で 書き込み有効とみなす) |
| 特記事項 | <p>CANDIDATELIST内の候補はUnicode文字列で取得される。 ATOK12から有効。</p> |

3 . サンプル

3 - 1 . 未確定文字列表示をアプリケーション側で行う

```
#include "atoklib.h"

case WM_IME_STARTCOMPOSITION:
    //(未)確定文字表示するための開始処理
    .....
    return( 0 );

case WM_IME_COMPOSITION:
    hIMC = ImmGetContext(hWnd);
    //(未)確定文字列更新情報を取得する
    AT_ImmGetAtCompositionPacket(hIMC, lParam, &ATOKCompositionPack);
    //カーソル位置情報をもとに次候補表示位置を通知する
    ImmSetCandidateWindow(hImc, ..);
    ImmReleaseContext(hWnd, hIMC);
    //取得した(未)確定文字列情報を表示する
    .....
    return( 0 );

case WM_IME_ENDCOMPOSITION:
    //(未)確定文字表示するための終了処理
    .....
    return( 0 );
```

3 - 2 . 未確定文字列表示は IME に行わせる

```
#include "atoklib.h"

case WM_IME_COMPOSITION:
    if ( IParam&GCS_RESULTSTR )
        { //確定文字列の出力があった
          hIMC = ImmGetContext(hWnd);
          //確定文字列更新情報を取得する
          AT_ImmGetAtCompositionPacket( hIMC, IParam,
            &ATOKCompositionPack );
          //取得した確定文字列情報を表示する
          .....
          //未確定文字表示位置を通知する
          ImmSetCompositionWindow( hIMC,...);
          ImmReleaseContext(hWnd, hIMC);
          //確定文字列はここで処理した
          IParam &= ~( GCS_RESULTREADSTR |
            GCS_RESULTREADCLAUSE |
            GCS_RESULTSTR | GCS_RESULTCLAUSE );
        }
    return( DefWindowProc(hWnd, message, wParam, IParam) );
```

4 . 付 録

4 - 1 . ATOKComposition 取得関数

AT_ImmGetAtCompositionPacket ;ATOKCompositionパケットの取得

AT_ImmGetAtCompositionPacket は ImmGetComposition の Unicode 対応版として提供されている。ImmGetComposition は Composition の要素ごとに取得する仕様であるのに対し AT_ImmGetAtCompositionPacketComposition は要素全体を一括取得する。

ATOK の場合、この関数を使用することで、Windows95 上でも Unicode 文字列を取得することができる。

4 - 2 . ATOK Composition 構造体定義

//構造体バッファサイズ定義

```
#define ATRESULTSTRCTR_MAX 100 // 確定文字列表記数Max
#define ATRESULTREADCTR_MAX 100 // 確定文字列読み数Max
#define ATRESULTCLAUSECTR_MAX 100 // 確定文字列文節数Max
#define ATCOMPOSITIONSTRCTR_MAX 100 // 未確定文字列表記数Max
#define ATCOMPOSITIONREADCTR_MAX 100 // 未確定文字列読み数Max
#define ATCOMPOSITIONCLAUSECTR_MAX 100 // 未確定文字列文節数Max
#define ATRSLTSTRB_MAX 128
#define ATRSLTREADB_MAX 128
#define ATRSLTCLSB_MAX 128
#define ATCOMPSTRB_MAX 128
#define ATCOMPREADB_MAX 128
#define ATCOMPCLSB_MAX 128
```

//AtChangeMode(文字列更新情報)構成要素

```
#define ATGCS_COMPREADSTR GCS_COMPREADSTR // 未確定文字列読み更新
#define ATGCS_COMPREADATTR GCS_COMPREADATTR // 未確定文字列属性更新
#define ATGCS_COMPREADCLAUSE GCS_COMPREADCLAUSE // 未確定文字列文節区切更新
#define ATGCS_COMPSTR GCS_COMPSTR // 未確定文字列表記更新
#define ATGCS_COMPATTR GCS_COMPATTR // 未確定文字列属性更新
#define ATGCS_COMPCLAUSE GCS_COMPCLAUSE // 未確定文字列文節区切更新
#define ATGCS_CURSORPOS GCS_CURSORPOS // 未確定文字列カーソル位置更新
#define ATGCS_DELTASTART GCS_DELTASTART // 未確定文字列表示変更位置更新
#define ATGCS_RESULTREADSTR GCS_RESULTREADSTR // 確定文字列読み更新
#define ATGCS_RESULTREADCLAUSE GCS_RESULTREADCLAUSE // 確定文字列文節区切り更新
#define ATGCS_RESULTSTR GCS_RESULTSTR // 確定文字列表記更新
#define ATGCS_RESULTCLAUSE GCS_RESULTCLAUSE // 確定文字列文節区切り更新
```

```
//AtCompositionStrAttr(未確定文字列表記属性)構成要素
//他社IMEの場合、ATCOLINDX_INPUTKOTEI ~ は返りません
//カーソル色は返りません(デフォルト)
#define ATCOLINDX_INPUT          0x00    // 変換可能入力文字色
#define ATCOLINDX_TARGETCONVERT 0x01    // 変換文字色
#define ATCOLINDX_CONVERTED     0x02    // 変換済み注目文節色
#define ATCOLINDX_TARGETNOTCONVERTED 0x03 // 未変換注目文節色
#define ATCOLINDX_INPUT_ERROR   0x04    // 入力文字エラー色
#define ATCOLINDX_INPUTKOTEI    0x06    // 固定入力文字色
#define ATCOLINDX_TARGETNOTCONVERTEDKOTEI 0x08 // 固定入力文節色
#define ATCOLINDX_TARGETCOMMENT 0x09    // 注目文節コメント色
#define ATCOLINDX_COMMENT       0x0a    // 文節コメント色

//AtResultPrvFaceNameFlg(確定文字フォント書体指定有無)構成要素
//他社IMEの場合、常にATRESULTPRVFONT_FALSE
#define ATRESULTPRVFONT_FALSE   0        // 無し
#define ATRESULTPRVFONT_TRUE    1        // 有り
```

```
//ATOKCOMPOSITIONPACK構造体
typedef struct{
    int    AtChangeMode                ;// 文字列更新情報
    int    AtCompositionStrCtr         ;// 未確定文字列表記数
    int    AtCompositionStrClsCtr     ;// 未確定文字列表記文節数
    int    AtCompositionReadCtr       ;// 未確定文字列読み数
    int    AtCompositionReadClsCtr    ;// 未確定文字列読み文節数
    int    AtCompositionCursorPos     ;// 未確定文字列カーソル位置
    int    AtCompositionDeltaStart    ;// 未確定文字列変更位置
    int    AtResultStrCtr             ;// 確定文字列表記数
    int    AtResultReadCtr            ;// 確定文字列読み数
    int    AtResultStrClsCtr          ;// 確定文字列表記文節数
    int    AtResultReadClsCtr         ;// 確定文字列読み文節数
    int    AtResultPrvFaceNameFlg    ;// 確定文字フォント書体指定有無
    int    AtReserveAreaA[64-12]     ;// リザーブ

    WCHAR  AtCompositionStr[ATCOMPSTRB_MAX] ;// 未確定文字列表記バッファ
    WORD   AtCompositionStrAttr[ATCOMPSTRB_MAX] ;// 未確定文字列表記属性バッファ
    DWORD  AtCompositionStrCls[ATCOMPCLSB_MAX] ;// 未確定文字列表記文節バッファ
    WCHAR  AtCompositionRead[ATCOMPREADB_MAX] ;// 未確定文字列読みバッファ
    WORD   AtCompositionReadAttr[ATCOMPREADB_MAX] ;// 未確定文字列読み属性バッファ
    DWORD  AtCompositionReadCls[ATCOMPCLSB_MAX] ;// 未確定文字列読み文節バッファ

    WCHAR  AtResultStr[ATRSLTSTRB_MAX] ;// 確定文字列表記バッファ
    DWORD  AtResultStrCls[ATRSLTCLSB_MAX] ;// 確定文字列表記文節バッファ
    WCHAR  AtResultRead[ATRSLTREADB_MAX] ;// 確定文字列読みバッファ
    DWORD  AtResultReadCls[ATRSLTCLSB_MAX] ;// 確定文字列読み文節バッファ

    WORD   AtReserveAreaC[ATRSLTCLSB_MAX] ;// リザーブ
    WCHAR  AtResultPrvFaceName[LF_FACESIZE] ;// 確定文字フォント書体名

    BYTE   AtReserveAreaB[1024-64] ;// リザーブ
} ATOKCOMPOSITIONPACK, *PATOKCOMPOSITIONPACK, *LPATOKCOMPOSITIONPACK;
```

4 - 3 . 未確定文字表示色構造体定義

```
#define ATIMECOMPCOL_ITEMMAX 16 // 未確定文字表示項目数
// 項目は後述のAtCompositionStrAttrに従い
// ATOK以外のIMEではATCOLINDX_INPUTKOTEI ~は
// 使用しません

typedef struct{ // 表示色アトリビュート構造体
    COLORREF    rgbBack; // 背景色
    COLORREF    rgbText; // 文字色
    BOOL        fUnderLine; // 下線表示有無
} ATIMECOL_STRC;
typedef struct{
    ATIMECOL_STRC  ATIMECompCol[ATIMECOMPCOL_ITEMMAX];
} ATIMECOMPCOL_TBL, *PATIMECOMPCOL_TBL, *LPATIMECOMPCOL_TBL;
```

4 - 4 . ATOK 辞書設定用構造体定義

```
//辞書セット番号
#define ATDICNO_1          0          // 辞書セット番号：辞書 1
#define ATDICNO_2          1          // 辞書セット番号：辞書 2
#define ATDICNO_3          2          // 辞書セット番号：辞書 3
#define ATDICNO_4          3          // 辞書セット番号：辞書 4
#define ATDICNO_5          4          // 辞書セット番号：辞書 5
#define ATDICNO_6          5          // 辞書セット番号：辞書 6
#define ATDICNO_7          6          // 辞書セット番号：辞書 7
#define ATDICNO_8          7          // 辞書セット番号：辞書 8
#define ATDICNO_9          8          // 辞書セット番号：辞書 9
#define ATDICNO_0          9          // 辞書セット番号：辞書 0

#define ATASSISTDICMAX     4          // 補助辞書数Max
#define ATDIFORMFILENAME_MAX (256+2) // 辞書ファイル名バイト数Max
#define ATDIFORMFILESETNICKNAME_MAX (80+1) // 辞書セット名文字数Max

// 辞書ファイル設定構造体
typedef struct tagATDIFORMFILENAMESET {
    UCHAR    *pszUserDicName;          // ユーザ辞書ファイルパス
    UCHAR    *pszSystemDicName;       // システム辞書ファイルパス
    UCHAR    *pszAssistDicName[ATASSISTDICMAX]; // 補助辞書ファイルパス
} ATDIFORMFILENAMESET;
```

4 - 5 . 辞書エラー種類一覧

```
enum ATAppError {
    ATREG_ERROR_RECORD_FULL = 1,      // 同じ読みの単語がいっぱい
    ATREG_ERROR_YOMI_FULL,           // この読みではこれ以上登録できない
    ATREG_ERROR_FILE_FULL,          // これ以上登録できない
    ATREG_ERROR_ABORT,              // 辞書が正しく設定されていないので登録を中止
    ATREG_ERROR_HYOKI_ERROR,        // 単語に不適切な文字が含まれている
    ATREG_ERROR_CANT_APPEND,        // 登録できなかった
    ATREG_ERROR_YOMI_OVER,          // 読みが長すぎる
    ATREG_ERROR_YOMI_ERROR,         // 読みにも不適切な文字が含まれている
    ATREG_ERROR_APPEND_NOW,         // すでに登録されている
    ATREG_ERROR_YOMI_TOP,           // 読みの先頭文字が不適切
};
```

4 - 6 . ATOKマウスイベント処理関係定義

```
// イベントは(ボタン状態 + キーボードシフト状態)で定義される
// 左ボタン状態
#define ATMSE_LDOWN          0x0001          // 押す
#define ATMSE_LUP            0x0002          // 離す
#define ATMSE_LDBLCLK        0x0003          // ダブルクリック
#define ATMSE_LDRAG          0x0004          // ドラッグ
// 右ボタン状態
#define ATMSE_RDOWN          0x0011          // 押す
#define ATMSE_RUP            0x0012          // 離す
#define ATMSE_RDBLCLK        0x0013          // ダブルクリック
#define ATMSE_RDRAG          0x0014          // ドラッグ
// 中央ボタン状態
#define ATMSE_MDOWN          0x0021          // 押す
#define ATMSE_MUP            0x0022          // 離す
#define ATMSE_MDBLCLK        0x0023          // ダブルクリック
#define ATMSE_MDRAG          0x0024          // ドラッグ
// キーボードシフト状態
#define ATMSE_KEYSHIFT       0x0100          // SHIFTキー同時押下
#define ATMSE_KEYCTRL        0x0200          // CTRLキー同時押下
// 文字位置詳細
#define ATMSP_FCHAR           0x0000          // 文字位置前半
#define ATMSP_BCHAR           0x0001          // 文字位置後半
```

4 - 7 . ATOK機能キー番号定義

```
#define ATKEY_AMET01         0x91           // AMET1起動
#define ATKEY_AMET02         0x92           // AMET2起動
#define ATKEY_AMET03         0x93           // AMET3起動
#define ATKEY_AMET04         0x94           // AMET4起動
#define ATKEY_AMET05         0x95           // AMET5起動
#define ATKEY_AMET06         0x96           // AMET6起動
#define ATKEY_AMET07         0x97           // AMET7起動
#define ATKEY_AMET08         0x98           // AMET8起動
#define ATKEY_AMET09         0x99           // AMET9起動
#define ATKEY_AMET10         0x9a           // AMET0起動
#define ATKEY_HELP           0xb0           // ヘルプ起動
#define ATKEY_PROPERTY        0xb2           // プロパティ起動
#define ATKEY_DICUT           0xb3           // 辞書ユーティリティ起動
#define ATKEY_CHARPALLET      0xb4           // 文字パレット起動
#define ATKEY_CLICKPALLET     0xb6           // クリックパレット起動
#define ATKEY_RESULTPALLET    0xb7           // 文字列ボックス起動
```

4 - 8 . 単語登録品詞取得用構造体定義

```
typedef struct tagATREGSTYLEBUF {
    DWORD          dwStyle; // 品詞番号
    WCHAR          szDescription[STYLE_DESCRIPTION_SIZE]; // 品詞名称
} ATREGSTYLEBUF, *PATREGSTYLEBUF, *LPATREGSTYLEBUF;
```

4 - 9 . 品詞名一覧

| 品詞名 | 品詞の説明 | 例 |
|--------|---|---------------------|
| 名詞 | 物や物の状態に付ける一般的な名詞 | 花、鳥 |
| 固有人姓 | 人の姓に付ける固有の名詞 | 後藤、村井 |
| 固有人名 | 人の名に付ける固有の名詞 | 和之、友子 |
| 固有人他 | 外国人名など、固有人姓・固有人名以外に付ける固有の名詞 | ガリバー、アリス |
| 固有地名 | 場所に付ける固有の名詞 | 徳島市、シドニー |
| 固有組織 | 組織に付ける固有の名詞 | ジャストシステム |
| 固有商品 | 商品に付ける固有の名詞 | 一太郎、ATOK |
| 固有一般名詞 | 人名・場所・組織・商品以外に付ける固有の名詞 | 天の川、ペガサス |
| 名詞サ変 | 後にサ変動詞「する」を付けることができる名詞 | 演出-する、援助-する |
| 名詞ザ変 | 後にザ変動詞「ずる」を付けることができる名詞 | 念-ずる、命-ずる |
| 名詞形動 | 物事の姿・状態・性質などを表し、後ろに「だ」・「な」を付けることができる名詞 | 画期的-だ(な)、大切-だ(な) |
| 名ザ形動 | 名詞・サ変・形容動詞の要素を持っており、後ろに「する」・「な」を付けることができる名詞 | 満足-する(な)、いたずら-する(な) |
| 数詞 | 数量・順序などを数えて示すことば | 1、壹 |
| 副詞 | 主に用言(動詞・形容詞・形容動詞)を修飾することば | たいへん、ゆっくり |
| 連体詞 | 活用がなく、体言だけを修飾することば | あの、この |
| 接続詞 | 語句を続けるために使うことば | そして、しかし |
| 感動詞 | 感動・応答・呼びかけなどを表すことば | ありがとう、やあ |
| 独立語 | 助詞・助動詞が付かず他のことばとつながりを持たないことば | 敬具、かしこ |
| 接頭語 | 他のことばの前に付けて使うことば | 御、ご、無 |
| 冠数詞 | 数字の前に付けて使うことば | 第、午前 |
| 接尾語 | 他のことばの後に付けて使うことば | 後、様 |
| 助数詞 | 数字に付けて種類や単位を表すことば | 週、グラム |
| 力行五段 | 力行の五段活用する動詞 | 書く、動く |
| カ行五段 | カ行の五段活用する動詞 | 急ぐ、泳ぐ |
| サ行五段 | サ行の五段活用する動詞 | 示す、消す |
| タ行五段 | タ行の五段活用する動詞 | 立つ、勝つ |
| ナ行五段 | ナ行の五段活用する動詞 | 死ぬ |
| ハ行五段 | ハ行の五段活用する動詞 | 飛ぶ、遊ぶ |
| マ行五段 | マ行の五段活用する動詞 | 生む、読む |
| ラ行五段 | ラ行の五段活用する動詞 | 売る、走る |
| ワ行五段 | ワ行の五段活用する動詞 | 会う、笑う |
| ハ行四段 | ハ行の四段活用する動詞 | 言ふ、笑ふ |
| 一段動詞 | 上一段、下一段活用する動詞 | 着る、始める |
| カ変動詞 | カ行変格活用する動詞 | 来る |
| サ変動詞 | サ行変格活用する動詞 | 熱する、察する |
| ザ変動詞 | ザ行変格活用する動詞 | 軽んずる、甘んずる |
| 形容詞 | 物事の性質・状態を表し、言い切るときの形が「い」で終わることば | 美しい、広い |
| 形容詞ウ | 形容詞の中で語尾がウ音硬化したときに語幹の形が変わることば | 高う、長う |
| 形容動詞 | 物事の性質・状態を表し、言い切るときの形が「だ」・「な」で終わることば | 豊かだ(な)、うららかだ(な) |
| 形動タリ | 物事の性質・状態を表し、語尾が「と」「たる」に活用することば | 燦然と(たる)、平然と(たる) |
| 単漢字 | 助詞・助動詞がつかず、ほかの品詞としての要素を持たない1文字の漢字 | 垂、以、宇 |

4 - 1 0 . ATOK 再変換用構造体定義

再変換用のRECONVERTSTRING構造体と同じであるが、ビルドオプションに関係なく常にUnicode文字列を想定する。(長さは文字数)

```
typedef struct tagATRECONVERTSTRING {
    DWORD dwSize;
    DWORD dwVersion;
    DWORD dwStrLen;
    DWORD dwStrOffset;
    DWORD dwCompStrLen;
    DWORD dwCompStrOffset;
    DWORD dwTargetStrLen;
    DWORD dwTargetStrOffset;
} ATRECONVERTSTRING, *PATRECONVERTSTRING, *LPATRECONVERTSTRING;
```

4 - 1 1 . ATOK 再変換用プライベートメッセージ文字列定義

```
#define MSGNAME_ATOK_RECONVERT          TEXT("Atok Message for ReconvertString")
```

Windows98から新規に追加された再変換用のメッセージWM_IME_REQUESTに相当するものをWindows 95 / WindowsNT3.5以降のWindowsでも利用できるように定義したプライベートメッセージである。(メッセージID は RegisterWindowMessage(MSGNAME_ATOK_RECONVERT)により決定される。)

このため、wParam, lParamはWM_IME_REQUESTメッセージに準拠したものになる。

wParamはIMR_RECONVERTSTRING/IMR_CONFIRMRECONVERTSTRINGである。

lParamはIMR_RECONVERTSTRING/IMR_CONFIRMRECONVERTSTRINGの仕様に準拠するが、lParamに設定されるRECONVERTSTRING構造体の中身は、ビルドオプションに関係なくUnicode文字列を想定する。(先のATRECONVERTSTRINGの内容と同じである。)

Windows98以前のOS上でも再変換を利用する場合には、IMEで用意される方式で実装する必要がある。

ATOKの場合、WM_IME_REQUESTで行う処理と同等のことを、このプライベートメッセージについても行えば実現できる。

4 - 1 2 . ATOK MakeRead(Low)構造体定義

```
//構造体バッファサイズ定義
#define ATMAKEREADSTRCTR_MAX          500      // 入力文字列数Max
#define ATMAKEREADREADCTR_MAX        500      // 出力読み数Max
#define ATMAKEREADCLAUSECTR_MAX      500      // 出力区切り数Max
#define ATMAKEREADREADBUF_MAX       512
#define ATMAKEREADCLSBUF_MAX        512

//区切り情報内容定義 (AtMakeReadClsInfoの内容)
#define ATJIRITU_HINSI                1        // 自立語起点

//ATOKMAKEREADLOW構造体
typedef struct{
    int    AtMakeReadReadCtr          ;// 出力読み数
    int    AtMakeReadClsCtr          ;// 出力区切り数
    int    AtMakeReadReserveAA[256-2];// リザーブ

    WCHAR  AtMakeReadRead[ATMAKEREADREADBUF_MAX] ;// 出力読みバッファ
    DWORD  AtMakeReadStrCls[ATMAKEREADCLSBUF_MAX] ;// 出力表記区切りバッファ
    DWORD  AtMakeReadReadCls[ATMAKEREADCLSBUF_MAX] ;// 出力読み区切りバッファ
    WORD   AtMakeReadClsInfo[ATMAKEREADCLSBUF_MAX] ;// 出力区切り情報バッファ
    WORD   AtMakeReadClsInfoEx[ATMAKEREADCLSBUF_MAX] ;// リザーブ
    WORD   AtMakeReadReserveXX[ATMAKEREADCLSBUF_MAX] ;// リザーブ
    WORD   AtMakeReadReserveYY[ATMAKEREADCLSBUF_MAX] ;// リザーブ
    WORD   AtMakeReadReserveZZ[ATMAKEREADCLSBUF_MAX] ;// リザーブ
} ATOKMAKEREADLOW, *PATOKMAKEREADLOW, *LPATOKMAKEREADLOW;
```

以 上